

2017年1月  
(No.22)

# あこう社協だより



—地域を知る—

- 第4回～人とつながること～ ..... 2P
- まち発見! あこう福祉ニュース ..... 4P
- ふれあいの家 わたしんちへようこそ! ..... 5P
- 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました  
歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました ..... 6P
- あこうのホッとな人 No.10 ..... 7P
- 社協ヘルパーの「ワンポイント介護」No.10 ..... 8P

12月17日(土)～25日(日)にかけて、市内14地域で『三世代交流もちつき大会』が行われました。

この事業は歳末たすけあい運動の一環として、子どもから大人・高齢者までの三世代が交流しながら実施されています。

つきあがったもちは、ひとり暮らし老人・高齢者世帯の対象者に配られました。

# シリーズ

# 地域を知る

## 第4回

# ～人とつながること～

(前回より)  
 現在、家族や社会の変化によって問題となっているのが、ひきこもりや孤立死、虐待、自殺などの深刻な生活課題です。  
 その状況を解決するためには、住民同士の「お互いさま」の助けあいにより、社会から孤立する前に、気軽に助けあえ、気付きあえる関係をつくっていくことが大切になってきます。  
 そのような関係をつくるためには、家から一歩踏み出し、何かの活動に参加することが大切です。人によって楽しみ方はさまざまですが、「自分らしさ」を発揮できる活動を見つけていることが重要になってきます。

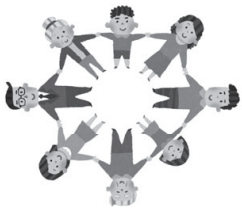
人は一人では  
 生手ぐられぬ

一人ではできないことも、二人ならできる。二人でできないことも、三人ならできる。人が集まれば、そこには何かをするパワーも集まります。

分かりやすく言えば、『仲間存在』がいかにか大切か、ということなのです。

「自分でできる」「一人でも大丈夫」と思う人もいると思いますが、家を一歩出て見渡すと、たくさんの方がいます。もつと周りの人に頼ることで、今以上に力強く生活できると思います。

社協では、人と人、心と心、人と地域を結び、地域住民のつながりをつくるお手伝いをしています。今回は、「パートナーサービス」と「ふれあい、いきいきサロン」の活動を通して、つながりづくりをしている2地区にお話を聞きました。



## 俺たち 地域のパートナー



(左から) 佐々木信夫さん(67歳)  
 濱口 義信さん(67歳)  
 三木 毅さん(71歳)

### 3人が出会った きっかけ

濱口(以下濱)・60歳の定年を迎えた時に自治会の役員になりました。それまでは家と会社の往復しかしていませんでしたが、いきいきサロンやパートナーサービスなどから、一歩一歩地域に入っていくことができました。

その活動を通して、3人は知りあいました。  
 三木(以下三)・前代表からいきいきサロンを引き継いだことから、地域へ出るようになりました。そこで2人と出会いました。それと、昨年防災士の資格を取得したことで、たくさんの知り合いができました。

パートナーサービス「おてつだい元禄」は、現在協会員14名で、地域の困りごと相談を受け付けています。例えば、庭の草刈り、家具の移動、買い物支援などを行っていますので、お気軽にご相談下さい。

住民からの信頼が厚い濱口さん。地域の環境美化にも力を入れています。



三木さんは、持ち前の体力でパワフルに活動しています。



佐々木（以下佐）…三木さんから「手伝って」と言われ、気付いたらいきいきサロンに参加していました。それまで何も参加していなかったのですが、周りの人に引張ってもらい、自然と入ることができました。



コツコツまじめな佐々木さんは、縁の下の力持ちになっています。

## 一歩家から出て、よかったこと

濱…人の役に立つという経験はあまりないので、喜んでもらえるのは嬉しい。  
三…地域の人から知ってもらうことで、顔の見える関係ができてきたことです。  
佐…まずは、自分が「人の役に立っている」と感じられることです。

## 「人とつながること」とは

濱…人とつながること、その人の人生から、自分が知らなかったことを知ることが出来ます。人生の歩み方を聞くと、とても面白いです。

三…人間一人では生きていけません。人と話して「知る」ということが大切だと思います。

佐…助けてほしいときに「助けて！」と言え、助けてもらいたい人を助けられる関係をつくる。みんな「助けて！」となかなか言えないと思うので、それが言えるつながりをつくっていきたいと思います。



地域の人々と、花の植え込みをして交流を深めています。



12月7日に行われたサロンでは、一足早いクリスマス会が行われ、集まった19名で体操や歌、ビンゴゲームなどを楽しみました。

サロン木ノ下は、年齢に関係なく、地域の誰もが気軽に集える場所を目指して平成27年4月に開設され、現在8名のスタッフが中心となって運営しています。

開設から1年9カ月。「どうやったら多くの方がサロンに来てくれるのか」「自分たちの活動は役に立っているのか」と悩んでいた時、サロン木ノ下に、米口静子さんから絵手紙が届きました。

「家においても話し相手がないから」と話す米口さんの楽しみは、いろんな世代の



人と話ができ、たくさん情報を得られるサロンに出かけることです。気軽にかけられる場所を作ってくれたこと、サロンに参加することで笑顔と元気をもらっていることへの感謝の気持ちで、思いをカタチにしました。

## 互いに元気をもらいあう ～サロン木ノ下～

(サロンメモ)

- 開催日 毎月第1水曜日  
午前10時～11時30分
- 場所 木ノ下集会所



絵手紙をもらったスタッフは、不安もなくなり、「一人でも二人でもいい。このサロンを楽しみにしてくれて活動ができるね」と、活動への意欲が湧いてきました。  
スタッフが参加者を支えるだけでなく、参加者がスタッフを支える。サロン木ノ下は、これからも人と人がつながるサロンとして、活動していきます。

次回は  
『住みやすいまちって  
どんなまち？』  
について取り上げます。

## よーさん買うたなぁー

12月16日(金)、西部地区を対象に、社協の新規事業「買物支援モデル事業」を実施しました。

この日は、自治会長を通じて希望があった5名が参加し、職員の運転する車に乗り合わせてイオン赤穂店へ向かいました。「自分で商品を見て、買えるのは楽しい。」と参加者は話していました。

今後は、月一回の実施を予定しています。



## 車いす寄贈

この度、生命保険協会兵庫県協会様より、車いす2台が寄贈されました。

寄贈された車いすは、市民の皆さんへ無料で貸し出しを行い、活用させていただきます。ありがとうございます。



## まち発見!



# あこう福祉ニュース

## 和やかな心 絵手紙で

12月4日(月)、有年絵手紙サークル「芙蓉の会」<sup>ふよう</sup>主催による「絵手紙で年賀状作り三世交流事業」に、13名が参加しました。

同事業は昨年に続いて2回目の開催。「昨年参加してくれた小学生から、『今年もぜひ実施してほしい』という強い要望もあり、今年も企画しました。参加者だけでなく、私たちが楽しませてもらっています。」と会員は話していました。



## 見やすい広報紙を目指して

「第29回近畿市町村広報紙コンクール(毎日新聞社ほか主催)」において、『あこう社協だより』が奨励賞を受賞しました。

審査対象となったのは、平成28年9月に発行した広報紙です。審査員からは、「巻頭の『長寿の輝き』は、対象者の一言が読ませる。見出しはうまく引っ張り出している。」「市民に寄り添う種々の事業を集めていて分かりやすい。」などの評価を受けました。

今後も見やすい広報紙を目指して取り組んでいきますので、引き続き「あこう社協だより」をよろしくお願いいたします。



# ふれあいの家 わたしんち

へようこそ!

開設6年

「ふれあいの家わたしんち」は、古民家を改修した“地域密着型小規模デイサービス”です。

介護が必要な方が介護保険を使い、自宅に近い環境で、自分のできることを皆で一緒にし、ゆったりと1日を過ごしていただきます。

わたしんちでは、たくさんの地域の皆さんにご協力をいただいています。また、利用者さんの「～したい」という気持ちを大切に、職員が利用者一人ひとりに寄り添いながら、生活リハビリのお手伝いをしています。

- 例) ・買い物
- ・習字
- ・絵手紙
- ・歌
- ・体操
- ・踊り



## 手芸 絵手紙作り

作品は、しあわせフェスティバルなどで展示しています。

## 野菜作り



日々の健康は、良い食事から。庭でとれた新鮮な野菜を使って、昼食を作っています。

## ふれあいの家 わたしんち

住所：赤穂市塩屋656-17

TEL：0791-56-6644

FAX：0791-56-6631



開設日：月～土曜日 午前9時～午後5時

(日曜日、12月29日～1月3日は休み)

定員：1日10名

※家族介護でお困りの方や興味のある方は、どなたでもお気軽にお越しください。

## 体操



適度な運動をして、健康増進に努めています。

# 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

10月に行われた赤い羽根共同募金運動では、市民の皆さまのご協力のもと、1,200万円余りの募金が寄せられました。今年度もあたたかなご協力をありがとうございました。

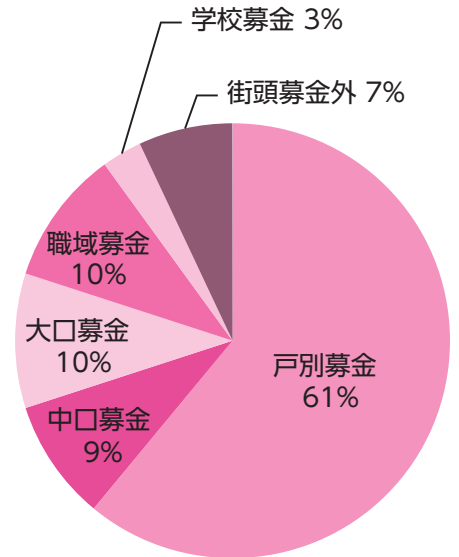
集められた募金は、平成29年度に県内の民間社会福祉施設や団体の助成金などに配分されるほか、その大部分が赤穂市社会福祉協議会の小地域福祉活動や高齢者・障がい者・児童福祉活動、ボランティア活動などへ配分されます。

皆さまの手で集められた募金が、まちの福祉向上につながるよう有効に活用させていただきます。



## 平成28年度共同募金実績報告

区 分	目標額 (円)	実績額 (円)	左の内訳	
			1件当 (円)	件 数
戸 別 募 金	7,350,000	7,348,100	485	15,145戸
中 口 募 金	1,050,000	1,070,532	1,424	752件
大 口 募 金	1,100,000	1,195,000	6,035	198件
職 域 募 金	赤 い 羽 根	463,448		
	バ ッ ジ	125,085	465	269個
	ク オ カ ー ド	331,360	380	872枚
	図 書 カ ー ド	220,500	420	525枚
	愛 ち ゃ ん シ ー ル	10,478	338	31個
	あ か は ね ち ゃ ん シ ー ル	11,136	348	32個
	計	1,100,000	1,162,007	
学 校 募 金	400,000	329,943		5,976人
街 頭 募 金 外	500,000	921,238	無人募金箱 419,692円 街頭 (30回実施) 501,546円	
そ の 他 (預 金 利 息)		335	前 年 度 繰 越 利 息	
合 計	11,500,000	12,027,155	達成率 104.58%	



### ○高雄小学校児童生徒より



今年も、稲から育てたもち米30kgを寄贈してくださいました。ひとり暮らし老人の会(ひまわりの会)や、介護特別食などに配分させていただきます。

### ○赤穂高等学校生徒



12月14日(水)の義士祭において、赤穂高等学校生徒および赤穂市仏教会の皆さんによる街頭募金活動が行われ、たくさんの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。

### ○赤穂市仏教会



歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました。

## ～災害ボランティアセンター開設訓練を実施します～

今年度も実際の災害時にボランティア活動が円滑に行われるよう、災害ボランティアセンター開設訓練を実施します。市民の皆さんもぜひご参加いただきますようお願いいたします。

- ・日 時：平成29年2月5日(日) 午前9時～正午
- ・場 所：総合福祉会館



詳しくは、社協(☎42-1397)までお問い合わせください。



～阪神・淡路大震災22年～

## 1.17ひょうごメモリアルウォーク2017

- 日 程：平成29年1月17日(火) 午前7時福祉会館出発 午後5時30分帰着(予定)
- 内 容：「1.17ひょうごメモリアルウォーク2017」(5kmコース) 「1.17のつどい」への参加 ※大型バスで現地まで行きます。
- 募集人数：20名(定員になり次第締め切り)
- 参加費：一人1,000円(昼食代は別途自己負担)
- 申込締切：平成29年1月12日(木)
- 申 込 先：社会福祉協議会 ☎42-1397

10回目の今回は、兵庫県視覚障害者福祉協会創立70周年記念大会（平成28年12月2日 兵庫県公館）において、長年の障がい者スポーツ振興への尽力を称えられ、感謝状の贈呈を受けた大黒さんにお話を聞きました。



大黒征吉さん（72歳：古浜町）

**Q. 活動を始めたきっかけは？**

**A.** 平成18年10月に開催された『全国障害者スポーツ大会（のじぎく兵庫大会）』に、視覚障がい者の安井さんが出場したことから、STT（サウンドテーブルテニス）の審判員としての活動が始まりました。今では、日本視覚障害者卓球連盟の公認審判員として、他地区の審判員養成にも関わっています。

**Q. 活動をしていて嬉しかったことは？**

**A.** 赤穂でのSTT練習会は、年間55回延べ600名が参加しています。その成果もあり、赤穂の参加者は、県大会では常に上位に入り、近畿大会には毎年出場しています。出場している皆さんの笑顔だったり、悔しそうな顔を見ていると活動をしていてよかったと思います。

**Q. これからの目標は？**

**A.** 今回の感謝状は、赤穂の練習会に参加している皆の代表としていただいたと思っています。これからは、後継として一緒に活動してくれる人を増やしていきたいです。また、関わった人が全国大会に出場し、プレーする姿を見ることが、私の夢です。

2017年 春の貸衣裳予約会

▼期間：平成29年2月2日（木）～2月4日（土）  
午前9時～午後5時

▼会場：総合福祉会館2階展示室

- ▼特典：①花嫁衣裳契約者  
…2割引・記念品  
②花嫁衣裳20万円以上ご契約者  
…持込料半額負担（上限4万円まで）  
③その他貸衣裳…1割引

※新郎・新婦衣裳写真撮り、振袖写真撮りのみ  
の場合は3割引

▼問い合わせ先：社協貸衣裳室 ☎42-1397



心配ごと相談所のご案内  
（平成29年1月11日～2月8日まで）

- 【一般相談】 1月11日（水） 1月25日（水）  
2月1日（水） 2月8日（水）  
【弁護士相談】（要予約） 1月18日（水）  
【カウンセラーによるこころの相談】（要予約）  
1月11日（水） 1月25日（水）  
2月1日（水）

※時間はいずれも午後1時～5時までです。  
※相談は無料です。

賛助会費ありがとうございました

（敬称略）

【個人】 榎本 由香子 匿名2名

福祉の拠点をみんなで支えてください。  
（法人会費：5,000円、個人会費：2,000円、一般会費：500円）

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかいご援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

あなたのやさしさを善意の窓口へ――

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました  
預託状況（12月1日～12月20日受付分）



●委任預託 (敬称略)

住所	預託者	金額	預託内容
加里屋	匿名	10,000	福祉のために
上郡町竹万	J A 兵庫西女性会 西播磨地区	5,000	J A 西播磨地区ふれあいフェスタ 福祉バザー売上金一部を
上郡町竹万	J A 兵庫西 西播磨営業生活センター	45,000	J A 西播磨地区ふれあいフェスタ 売上金一部を
中 広	匿名	10,000	福祉のために
加里屋	赤穂市シルバー人材センター	12,669	義士祭奉賛甘酒無料会場にて善意の募金を
中 広	川原 譲	50,000	亡父（三治郎）満中陰志
宮前町	根来 良一	100,000	米寿御祝として
さつき町	宮崎 輝豊	5,182	福祉のために
有年横尾	土鯉・ほねがみ・あつち	3,500	しあわせフェスティバル売上金一部を

◎母が亡くなって二年。生前に母が使っていたエプロンを、実家から持って帰ってきました。夕飯の支度中、娘が私の方に駆け寄り、腰にぎゅーっと抱きついてきました。「なあに？どうしたの？と、尋ねると、「おばあちゃんの匂いがするかなあ」と思っていると娘。普段は、おばあちゃんのことを口に出したりしないけれど、娘の心の中には、今でもずっとおばあちゃんがいるんだなと、嬉しく思い、胸がいっぱいになりました。  
（のんこ）



# 正規職員募集

職種	人員	受験資格
専任職員 (事務職)	1名	昭和56年4月2日以降に生まれた人(平成29年4月1日における満年齢が35歳までの人)で、社会福祉士資格を有する又は平成29年3月までに同資格を取得見込の人

- ◎採用試験 日時：平成29年2月4日(土) 午前9時から  
場所：総合福祉会館 2階研修室  
内容：教養試験・作文・面接
- ◎受付期間 平成29年1月31日(火)まで  
午前8時30分～午後5時(土日・祝日を除く)
- ◎申込方法 当社協指定の履歴書に必要事項を記入のうえ、社会福祉協議会まで持参してください。(郵送不可)
- ◎問い合わせ先 赤穂市社会福祉協議会 ☎42-1397)まで

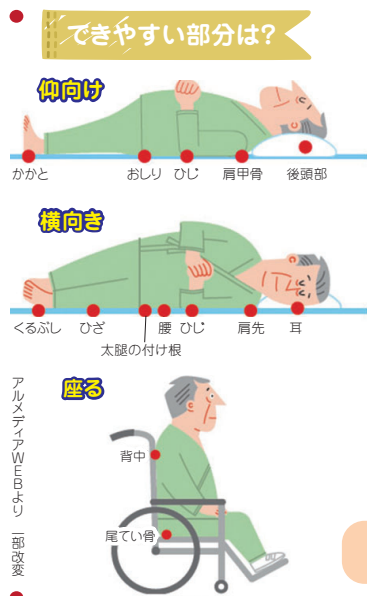
## 社協ヘルパーのワンポイント介護 No.10

※今回のテーマ※

### “床ずれ(褥瘡)予防”

～お家での介護、困っていませんか?～

床ずれ(褥瘡)は、ある部分が持続的に圧迫されることにより、その部分の血流が悪くなるのが原因で発生し、皮膚の一部が赤くなったり、ただれたり、ひどい場合は筋肉や骨にまで傷が広がる場合があります。オムツ交換や着替え、入浴時に床ずれのできやすい部分を観察してみましょう。



#### 予防のコツ

##### ●体圧分散

- ・できるだけ広い面積で体重を支えて、圧を分散させましょう。  
[例] かかと ⇒ 面積の広いふくらはぎにクッションを入れる。
- ・長時間おなじ体勢でいることを避けましょう。  
[例] 車イス ⇒ お尻を持ち上げる ベッド ⇒ 体の向きを変える  
※床ずれ予防のための福祉用具もいろいろあります。

##### ●摩擦の予防

- ・シーツや衣服のシワを伸ばしましょう。
- ・皮膚のずれや摩擦は、皮膚を傷める原因になります。

##### ●清潔

- オムツの中は排泄物で汚れたままにせず取り替え、皮膚を清潔に保ちましょう。

##### ●栄養

- 少しの食事でも必要な栄養素が取れるよう工夫することも予防につながります。  
[例] お粥 ⇒ たまご粥 ゼリー ⇒ プリン

骨が突出している部分は要注意!

5月号で紹介の「スライドシート」を活用しましょう。

11・12月号「オムツ交換」を参考にしましょう。

30分経過しても赤みが消えない場合は床ずれの可能性がありますが、医師や看護師、担当ケアマネジャーに相談しましょう。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
皆様、お正月はいかがお過ごしでしたか? どんな形であれ、お正月は日常と違った特別な時間が流れますよね。始まりは晴れやかに! 皆様の1年がまた豊かでありますように。  
今年は「酉年」。悪いものは「取り」去って、良き1年にむけて「羽ばたいて」いきましょう!  
今年も「あこう社協だより」のご愛読と、取材についてご協力よろしくお願いたします。

ご意見・問い合わせは

ホームページもぜひご覧ください!

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 〒678-0232 赤穂市中広267番地  
電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444  
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



赤穂市社協

検索